

抜本的な浸水対策について

手城川流域の浸水対策



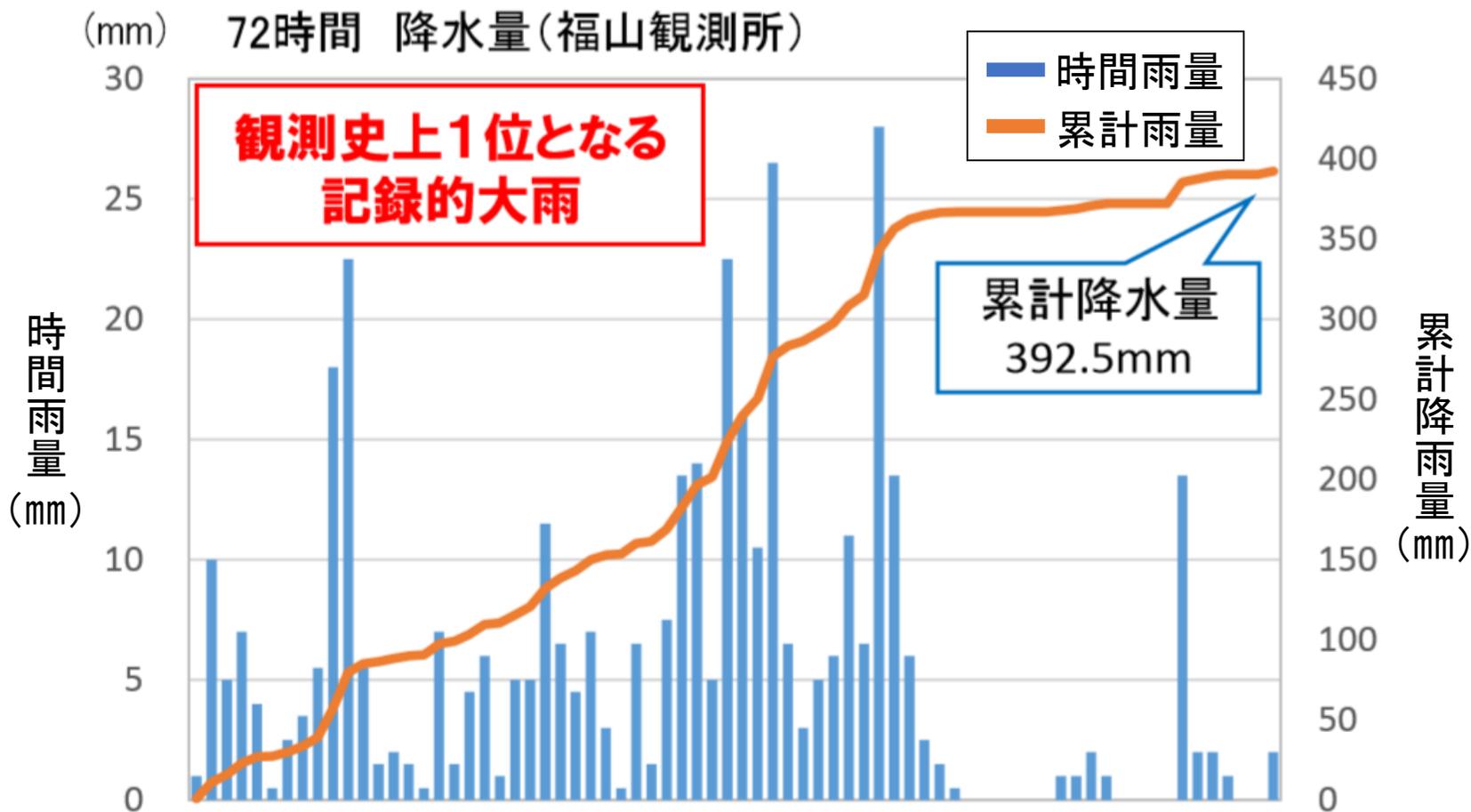
平成30年7月豪雨の雨量及び浸水被害

福山市で観測史上最悪の豪雨を記録（72時間で392mm）

- 芦田川 計画高水位を超過（観測史上最高水位を更新）
- 県管理河川 破堤2河川、越水28河川（県内最多）
- 浸水面積 約2,000ha 床上浸水 約1,300棟（県内最大）

手城川流域の被害

- ・ 浸水面積 約250ha
- ・ 浸水被害棟数 61棟
 - 床上浸水 36棟
 - 床下浸水 25棟



抜本的な浸水対策 概ね5年間（～2023年度）で集中実施！



駅家町

山手町(山手橋付近)



神辺町浸水
(フレスポ神辺モール付近)

南蔵王町 広尾交差点

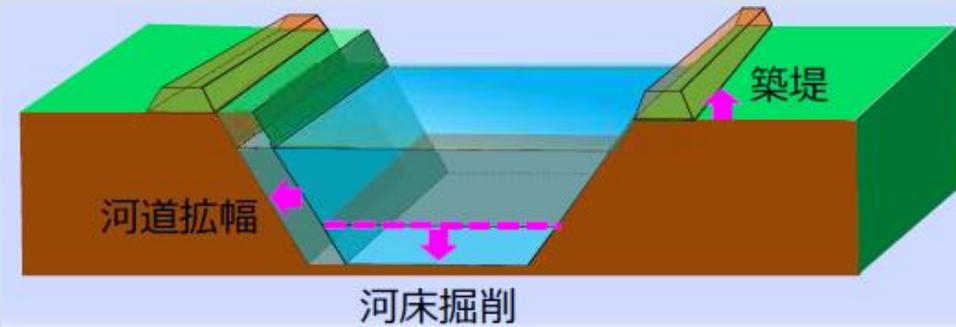


治水対策の内容（ハード対策）

対策方針Ⅰ 流下能力の向上

河積を拡大し流下能力を向上させる

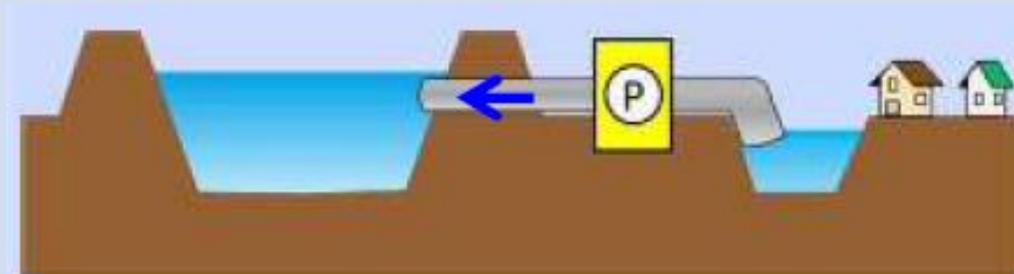
- 河積を拡大し流下能力を向上
- 緊急的な河床掘削等



対策方針Ⅱ 排水機能の整備

総合的な治水対策により排水機能を整備する

- 排水機場の新設・増設、雨水貯留施設の整備
- 排水ポンプ車の配備

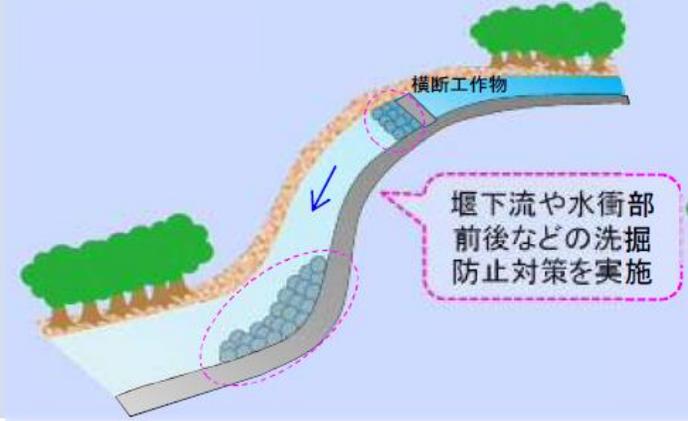


治水対策の内容（ハード対策）

対策方針Ⅲ 堤防・護岸の強化

洪水流に強い堤防・護岸を整備する

- 洪水流に強い護岸の整備



- 決壊しにくい構造等により堤防を強化



対策方針Ⅳ 適切な維持管理

適切な維持管理により流下能力を確保する

- 堆積土砂・樹木等の撤去
- 定期点検や定点観測の強化



定期点検や定点観測の実施による堆積状況把握の強化

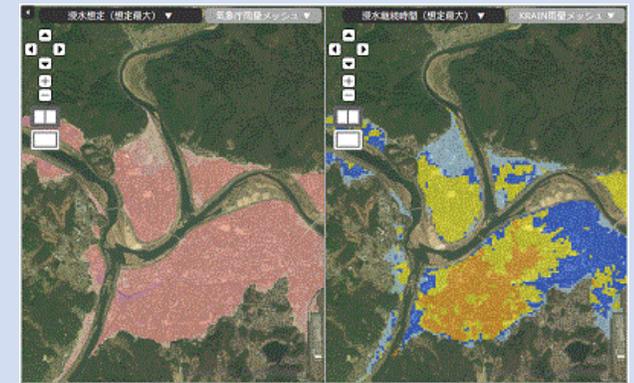


治水対策の内容（ソフト対策）

対策方針Ⅴ ソフト対策

的確な避難行動につながるようソフト対策の充実を図る

- 水害リスク等の周知
 - ① 浸水想定区域の指定・公表
 - ② 危険箇所の周知
- 避難等に関する基盤整備
 - ③ 危険管理型水位計の設置
 - ④ 河川監視カメラの設置
- 避難勧告等発令に資する情報提供
 - ⑤ 基準水位の検証・見直し
- 避難に関する啓発活動
 - ⑥ 出前講座の実施
(地域住民・学校等)



福山市手城川流域における床上浸水被害解消プラン（抜粋）

【流域の概要】

- **地域的要因**や近年多発する**局地的豪雨**により、多くの浸水被害に見舞われている
- **局地的豪雨の顕在化、家屋浸水被害の多発**
- **市街地の拡大により流出量が増大**
→ **浸水危険度が増大**

総合的な治水対策について、国・県・市・土地改良区からなる「福山市域における浸水対策協議会」で検討

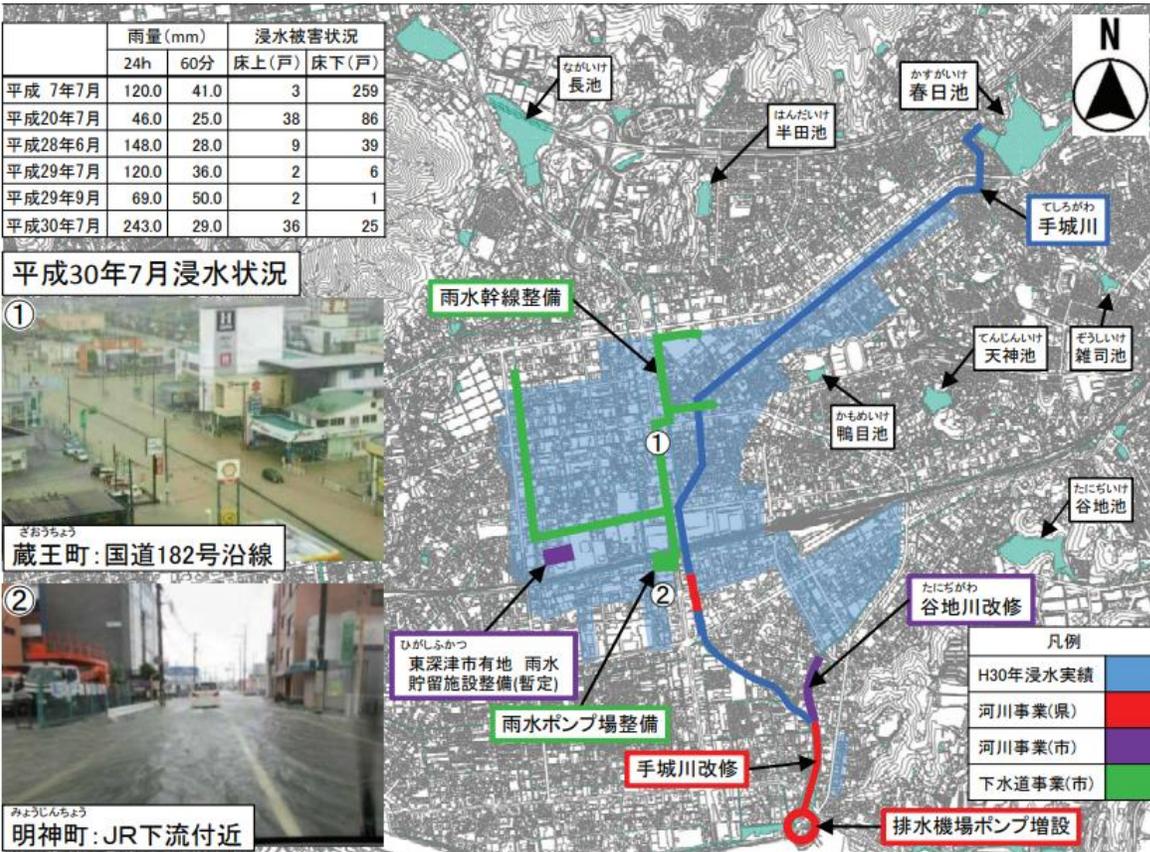
流域における治水対策を関係機関が一体となり効果的に組み合わせ推進する

【取組内容】

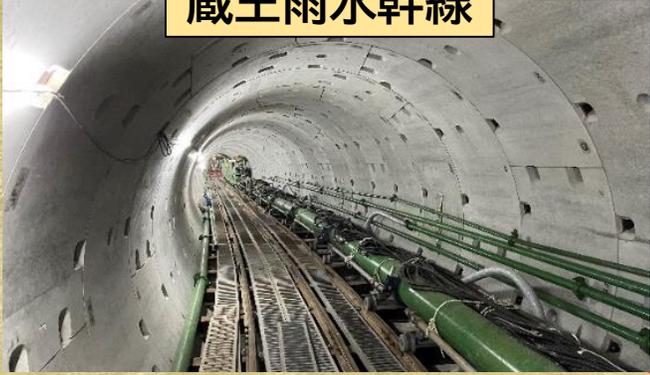
- **河川・下水道**
 - ・河川改修、排水機場ポンプ増設・新設、雨水幹線整備
- **流域対策**
 - ・公共用地等を利用した雨水貯留施設の暫定整備、ため池の低水位管理、雨水貯留・排水施設の重点的管理による能力確保・保持
- **危険情報周知・水防活動**
 - ・監視カメラ画像・水位情報の提供、警戒パトロールの実施
 - ・洪水ハザードマップの全戸配布、内水ハードマップの作成・公表
 - ・市民と行政が一体となった「総合防災訓練」等の実施

【取組効果（目標）】

平成29年9月及び平成30年7月の降雨に対し、手城川流域における床上浸水を解消、家屋浸水の軽減を図る



蔵王雨水幹線



市

県

手城川 河道拡幅(明神)



雨水貯留施設 東深津地区



手城川 河道拡幅(東手城)



蔵王ポンプ場



深津小学校

手城川

手城川排水機場 ポンプ増設(東手城)



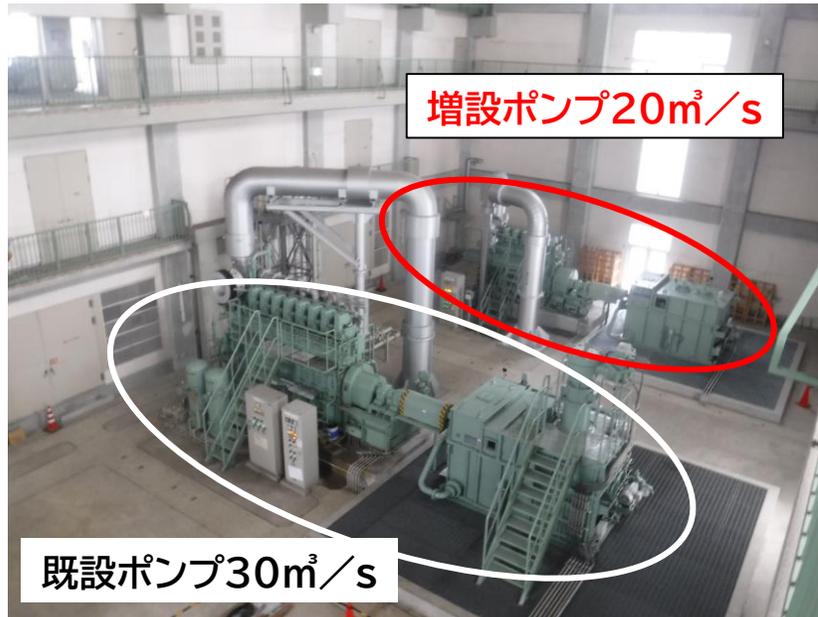


手城川排水機場

排水ポンプ増設工事（増設 $20\text{m}^3/\text{s}$ ）が完成
既設排水ポンプ（ $30\text{m}^3/\text{s}$ ）との一体的な運用を
開始（2023年4月1日より）



増設ポンプ $20\text{m}^3/\text{s}$



増設ポンプ $20\text{m}^3/\text{s}$

既設ポンプ $30\text{m}^3/\text{s}$

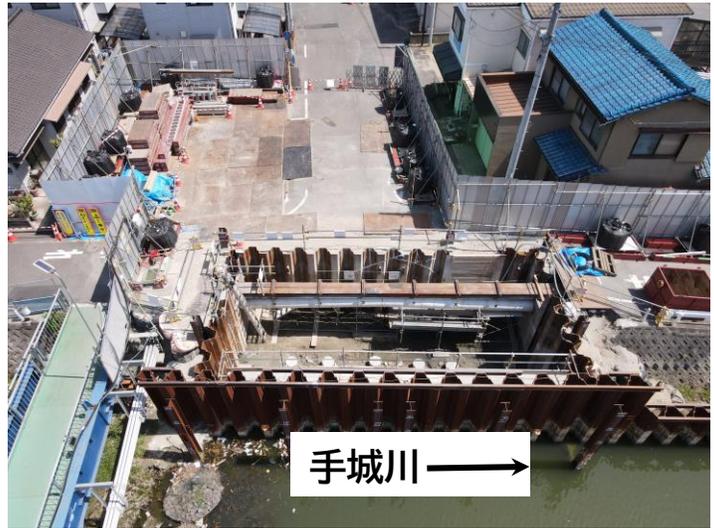
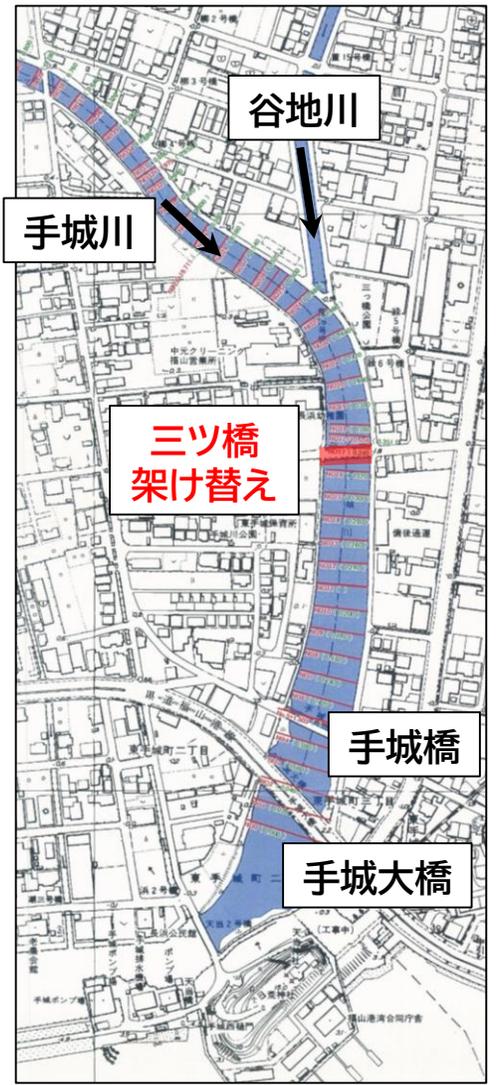


手城川排水機場

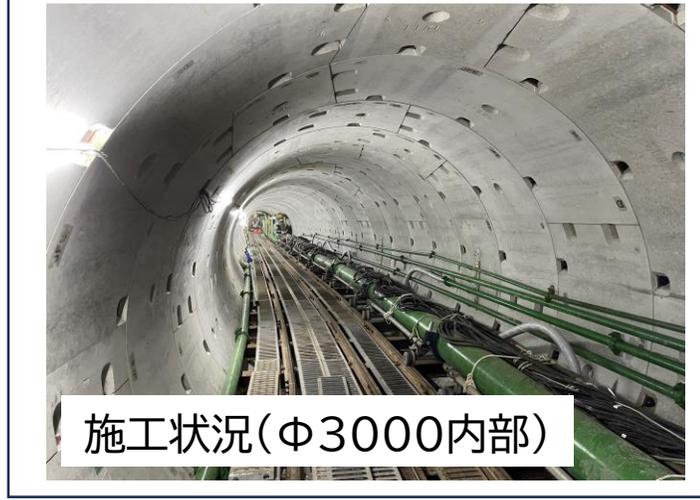
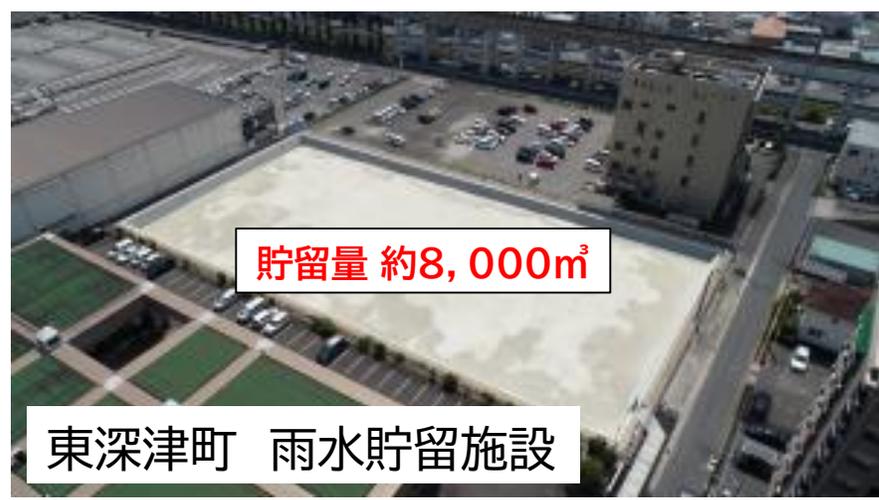
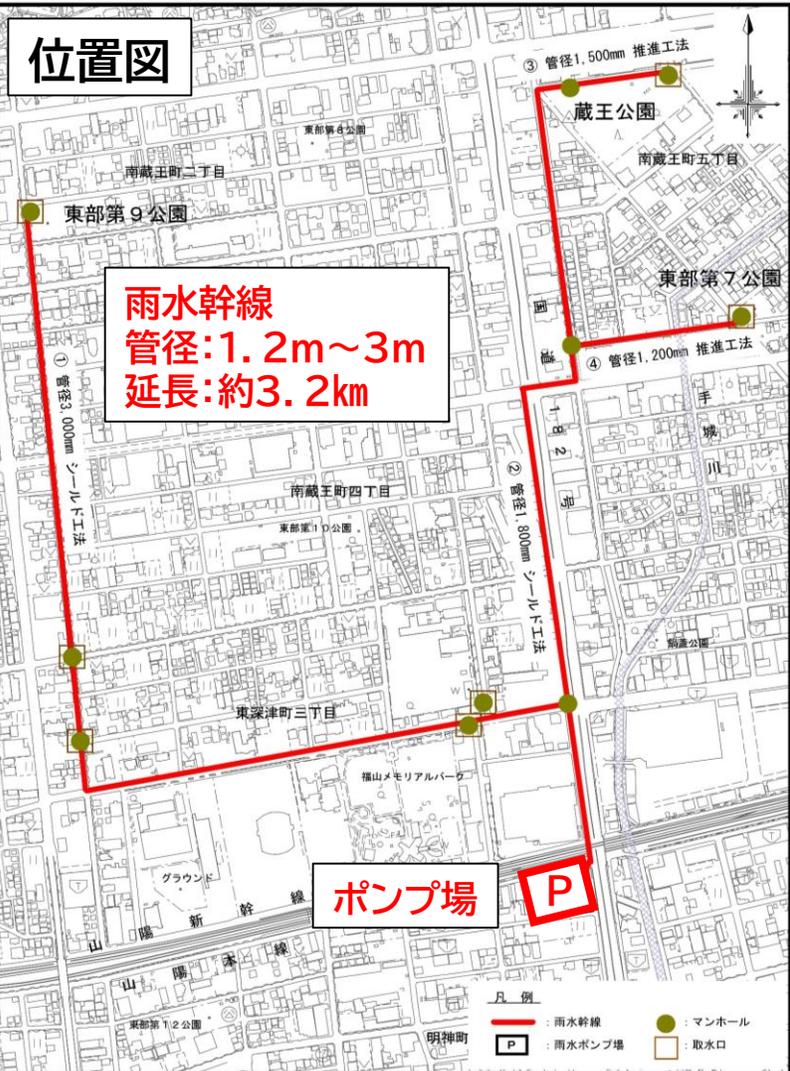
流下能力の向上 河川改修

下流域 手城川排水機場の機能強化に伴う河川改修
河道拡幅のため三ツ橋の架け替え

中流域 蔵王ポンプ場からの放流に備え、
溢水等が発生しないよう河道拡幅

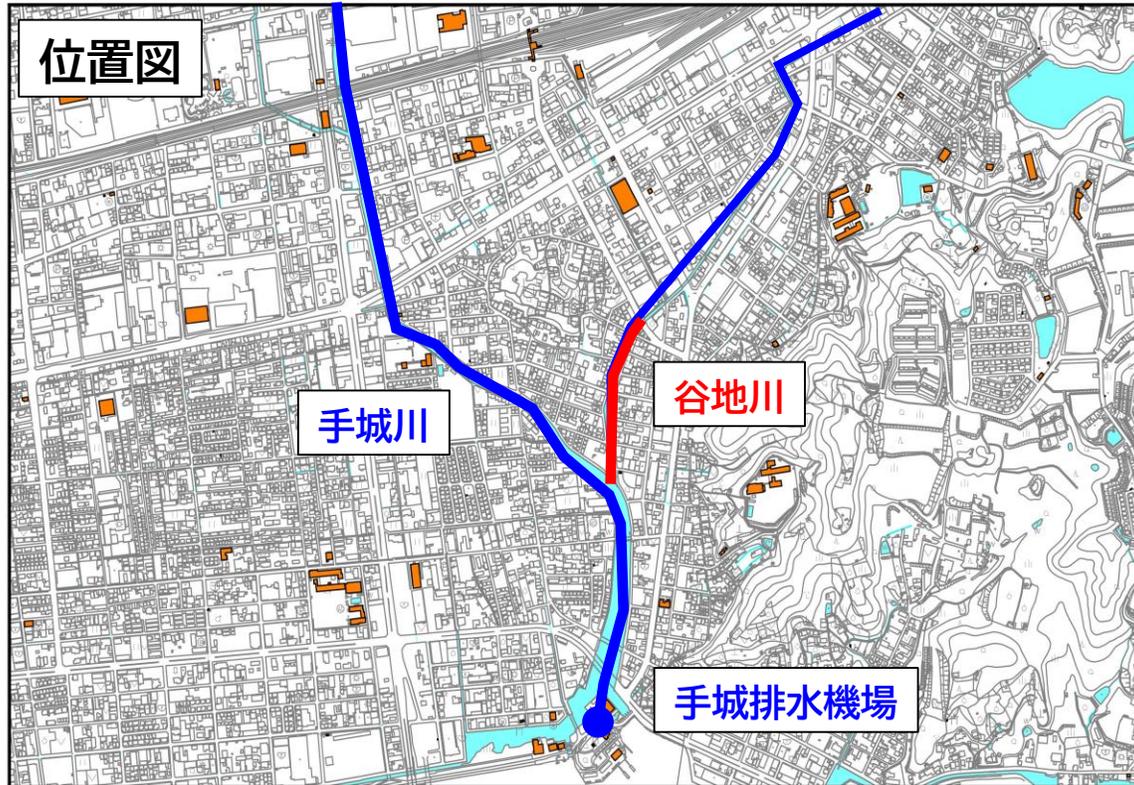


蔵王地区 蔵王雨水幹線は、2025年出水期までに暫定的に雨水貯留施設として供用開始
東深津町の雨水貯留施設と合わせると、約23,000m³の貯留が可能



谷地川 河道断面の拡幅

手城川との合流部から上流380mの区間で
流下能力向上に向けた河川改修を実施



施工前



施工状況
(鋼矢板護岸工事)



施工状況
(鋼矢板護岸打込み完了)

抜本的な浸水対策の概成と整備効果

国(7事業)



芦田川大橋付近 施工状況

土砂等の撤去 **107,500m³**

県(64事業)



手城川排水機場(東手城町)



福川排水機場(神島町)

ポンプ増設・新設 **3施設** など

169事業が完了

新たなポンプ **13施設【県・市】**

15.6万m³／時間の排出が可能
(平成30年当時の**1.9倍**に増強)

河川の河道掘削【国・県】

河川の水位が上がりにくくなり
ポンプの排出の安全性が向上

雨水貯留施設 **13か所【市】**

15.8万m³の雨水の貯留が可能
(平成30年当時の**1.5倍**に増強)



令和6年7月 **集中豪雨**

床上浸水・・・発生なし
床下浸水・・・2件

市(89事業)



雨水貯留施設(松永町)

13か所 158,000m³ 貯留



ポンプ増設・新設 **10施設** など

土地改良区(9事業)



大橋排水機場(駅家町)

ポンプオーバーホール など